



2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月9日

上場会社名 株式会社 フェリシモ

上場取引所 東

コード番号 3396 URL <https://www.felissimo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 宮本 孝一

TEL 078-325-5555

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	20,926	0.3	97	48.5	156	59.2	158	57.8
2019年2月期第3四半期	20,863	2.6	188	58.8	383	31.0	375	31.4

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 185百万円 (62.0%) 2019年2月期第3四半期 489百万円 (25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	22.83	
2019年2月期第3四半期	54.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	31,163	16,959	54.4
2019年2月期	30,658	16,808	54.8

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 16,956百万円 2019年2月期 16,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		5.00	5.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,276	4.8	116	78.1	195	73.0	183	73.6	26.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	10,043,500 株	2019年2月期	10,043,500 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	3,093,802 株	2019年2月期	3,093,802 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	6,949,698 株	2019年2月期3Q	6,949,698 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	7
販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年11月30日)におけるわが国の経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続かなか全体としては緩やかな回復基調が続いていました。しかしながら、通商問題の動向や中国経済の先行き等による海外経済の不確実性、また、消費税率引上げによる消費者マインドの動向等により、不透明な状況にありました。

このような状況の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、主力事業である定期便(コレクション)事業の収益力改善と次代を担う新たな事業の育成に取り組んでまいりました。

定期便(コレクション)事業では、引き続き顧客との共感をベースにした価値の提供と継続的な関係性を軸としたクラスターマーケティングへの転換を進めており、当第3四半期連結累計期間も顧客との関係性を重視したマーケティング・コミュニケーションを実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、「Sunny clouds(サニークラウド)」や「Live in comfort(ライブ イン コンフォート)」、「IEDIT(イディット)」、「MEDE19F(メデ・ジュウキユウ)」といったファッションブランドの受注が引き続き好調に推移し、売上げも前年同期を上回りました。また、水族館等の施設や国内外人気キャラクターとのコラボレーションによって誕生した雑貨商品の受注も好調に推移し、売上げも前年同期に比べて伸長いたしました。

定期便(コレクション)事業全体におきましては、新規・復活顧客の獲得数が前年同期を上回ったことや顧客の購入単価が上昇したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上げは前年同期に比べて増加いたしました。

新規事業分野では、当社の保有リソースや資産を活用した物流及びEC支援事業が前年同期に比べて売上げを大きく伸長させました。また、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS(フェリシモパートナーズ)」事業の売上げも前年同期に比べて伸長しましたが、その他の事業の売上げが減少したため、新規事業分野全体の売上げは前年同期を下回りました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は20,926百万円(前年同期比0.3%増)となり、前年同期とほぼ同額となりました。また、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は11,248百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、配送単価の上昇に伴う販売費の増加や減価償却費等の設備費が増加したことにより、11,151百万円(前年同期比1.5%増)となりました。これらの結果、営業利益は97百万円(前年同期比48.5%減)となりました。

営業外損益では、受取利息等による営業外収益を75百万円計上した一方、為替差損等による営業外費用を16百万円計上したことにより、経常利益は156百万円(前年同期比59.2%減)となりました。税金等調整前四半期純利益は164百万円(前年同期比57.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は158百万円(前年同期比57.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ504百万円増加し、31,163百万円となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加241百万円及び商品の増加473百万円に対して、現金及び預金の減少が627百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ353百万円増加し、14,203百万円となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金の増加308百万円及び賞与引当金の増加156百万円に対して、支払信託の減少233百万円となったことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ151百万円増加し、16,959百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加123百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期連結業績予想につきましては、2019年4月8日に開示いたしました前回予想からの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,635	16,008
売掛金	2,707	2,948
有価証券	2,000	2,000
信託受益権	507	558
商品	3,773	4,247
貯蔵品	68	83
その他	443	503
貸倒引当金	△39	△43
流動資産合計	26,095	26,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	202	181
土地	1,946	1,946
その他(純額)	309	497
有形固定資産合計	2,458	2,625
無形固定資産	674	784
投資その他の資産		
投資有価証券	1,197	1,211
その他	232	235
投資その他の資産合計	1,429	1,446
固定資産合計	4,562	4,856
資産合計	30,658	31,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,403	1,711
電子記録債務	1,541	1,395
支払信託	2,514	2,281
未払法人税等	42	28
販売促進引当金	208	200
賞与引当金	154	310
その他の引当金	78	91
その他	1,519	1,736
流動負債合計	7,463	7,756
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	2,985	3,038
その他	401	407
固定負債合計	6,386	6,446
負債合計	13,849	14,203

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	13,114	13,238
自己株式	△3,033	△3,033
株主資本合計	16,791	16,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	28
繰延ヘッジ損益	1	1
退職給付に係る調整累計額	△13	11
その他の包括利益累計額合計	14	41
非支配株主持分	2	3
純資産合計	16,808	16,959
負債純資産合計	30,658	31,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	20,863	20,926
売上原価	9,676	9,661
売上総利益	11,186	11,265
返品調整引当金戻入額	90	71
返品調整引当金繰入額	100	87
差引売上総利益	11,176	11,248
販売費及び一般管理費	10,987	11,151
営業利益	188	97
営業外収益		
受取利息	27	32
受取家賃	8	8
為替差益	108	—
受取補償金	13	7
その他	38	26
営業外収益合計	195	75
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	14
持分法による投資損失	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	16
経常利益	383	156
特別利益		
持分変動利益	—	8
特別利益合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	383	164
法人税、住民税及び事業税	6	3
法人税等調整額	—	2
法人税等合計	6	5
四半期純利益	376	158
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	375	158

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	376	158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3
繰延ヘッジ損益	22	△0
退職給付に係る調整額	88	24
その他の包括利益合計	112	27
四半期包括利益	489	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488	185
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

当社は、2019年12月20日開催の取締役会において、2020年3月1日(予定)を効力発生日として、当社のhaco!事業に関する権利義務を、会社分割(簡易吸収分割。以下「本吸収分割」という。)により連結子会社である株式会社cd.に承継させることを決議し、同日、吸収分割契約を締結いたしました。

1. 会社分割の概要

(1) 本吸収分割の目的

当社は、経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、次代を担う新たな事業の育成に取り組んでおります。

この度、haco!事業を分社化することで当該事業部門の意思決定の迅速化と組織の自律性を高め、新規事業の創出や企業連携を通じたさらなる事業拡大スピードの向上を図ることで、グループ全体の収益性の向上を目指しております。

(2) 分割する事業の内容

ファッションアイテムのEコマース販売

(3) 本吸収分割の形態

当社を分割会社とし、株式会社cd.を承継会社とする簡易吸収分割

(4) 本吸収分割に係る承継会社の名称

株式会社cd.

(5) 本吸収分割の日程

吸収分割契約締結日 2019年12月20日

本吸収分割の効力発生日 2020年3月1日(予定)

(6) その他の重要な事項

株式会社cd.は、当社の連結子会社(2019年11月30日現在の持株比率は66.7%)であります。2020年1月20日までに持株比率を100.0%とし、当社の完全子会社とする予定であります。

2. 実施する予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

3. 業績に与える影響

本吸収分割は当社の完全子会社を当事者とする組織再編であることから、当社グループの連結業績に与える影響は軽微であります。

3. 補足情報

販売の状況

販売実績

品目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)			当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)		
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
服飾・服飾雑貨	14,465	98.1	69.3	14,698	101.6	70.2
生活関連	5,480	96.4	26.3	5,369	98.0	25.7
その他	918	93.0	4.4	859	93.6	4.1
合計	20,863	97.4	100.0	20,926	100.3	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。